

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 住む人と、自然を大切にする健康エコ住宅

グループの名称 家づくり図書館 ～家づくりは学ぶことからはじめよう～

直近採択グループ番号 04-0237-0735

(グループ代表者)

代表者名 古木 正行 代表者印
代表者所属先 株式会社古木常七商店
代表者所在地 熊本県阿蘇市一の宮町宮地2313番地
代表者電話番号 0967-22-0821

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社古木常七商店
事務局担当者名 藤田 岳尚 印
事務局郵便番号 869-2612
事務局所在地 熊本県阿蘇市一の宮町宮地2313番地
事務局電話番号 0967-22-0821
事務局FAX 0967-22-4460
事務局担当者E-mail fujita@furuki7.co.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		6	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	6	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		10	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		11	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	11	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		6	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	6	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		12	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	12	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0	棟						
			0	m ²						
		申請が未確定	1	棟						
			200	m ²						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	長寿命型、高度省エネ型、優良物件全てにおいて、未経験工務店に2ヶ月間優先的に枠を確保する。 その後は先着順とする。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	6	戸	交付申請戸数	6	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住む人と、自然を大切に健康エコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県 大分県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 家づくり図書館 ～家づくりは学ぶことからはじめよう～	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0237-0735	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	熊本県阿蘇市を中心に冬は東北地方並みの気候風土であるため、省エネルギー性能を重視し、耐震性を高めた住まいづくりとする。断熱等性能等級4且つ、全ての地域において気密性の高いアルミ樹脂複合サッシ以上を標準とする。 (非住宅を除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	室内物干しスペース、又は浴室暖房乾燥機を設ける。(非住宅を除く) 0度以下になる地域においては、給水給湯に凍結防止処置を施す。 仕口の強度を確保する為に金物を使用する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	外壁の色は原色を避け、自然と調和する色を優先とする。 外壁においては、汚れ防止機能を付加した材料を優先して使う。 外壁の洗浄用に外水栓を設ける。 上記の内いずれか二つを採用する。	◎
④①～③の背景	①の背景として、熊本県阿蘇市を中心に冬は東北地方並みの気候風土であり、-10度となる地区もある。また火山灰の被害のエリア、熊本地震被災エリアであり、気密性の高い外部構造・耐震性能が求められる。 ②の背景として、阿蘇山噴火による火山灰被害で窓が開けられず、洗濯物が干せない現状がある。且つ冬場の凍結対策が必要なエリアでもある。 ③の背景として、阿蘇市は、世界一のカルデラ「阿蘇山」と、雄大な自然に恵まれあらゆる自然景観を楽しむことができ、調和するデザインが求められる。且つ火山灰被害により外壁が汚れやすい。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	本来このエリアでは、冬は暖かく、夏は窓を開けなくても、快適に過ごせる性能が必要であるにも関わらず、今日においてそれらを満たす住宅は少ない。当グループを通じ長寿命型・高度省エネ型を満たす家づくりを推進していく。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 積雪や火山灰を考慮し垂木をワンサイズ上げて通常60*45から75*45以上とし、木材の標準仕様書を作成する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: エネルギー商材において標準仕様を設定する。(非住宅を除く)	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 高効率給湯機・高性能エアコンかつLEDを標準仕様とする。	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 標準仕様を設定することで、資材のコストダウンを図り、エネルギー消費量計算などの合理化を図る。(非住宅を除く)	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 調達において選任担当者を設置し、各物件において情報の共有化を図り合理化していく。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 毎月1回理事メンバーで検討委員会を行い、議事録を作成する。結果を文章にて事務局より他のメンバーへ通達する。構成メンバー施工グループから2社、設計グループから1社、流通から1社で委員会を構成する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 当該の取組の、情報収集・情報発信、勉強会、委員会の招集、申請手続きなどの実施	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外壁通気工法を標準とし、瑕疵担保責任保険法人の施工基準を遵守する。 (非住宅を除く)	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地盤調査を4ポイントから5ポイントに変更する。瑕疵担保責任保険法人の防水検査も実施する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅設備機器においては、メーカー名・型番・定価などの表示を義務付ける。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 家づくり図書館のコンセプト等、ホームページ・フェイスブック等で公開する。 又、当会メンバーで2ヶ月に一回のペースで、年6回完成見学会・構造見学会・商談会等を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当会メンバーでイベント用ののぼり、ユニホームやヘルメット等を作成する。 構造見学会を積極的にを行うことにより、地域住民に当グループの健康エコ住宅を広める。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住む人と、自然を大切に健康エコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県 大分県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 家づくり図書館 ～家づくりは学ぶことからはじめよう～	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0237-0735	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a 住宅履歴情報機関いえるて[正会員である第三者機関のプロパティオン等]を活用し、長期優良住宅に準じ、30年間管理する。		
① 住宅履歴情報の蓄積		◎
①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報機関「いえるて」を活用し、長期優良住宅に準じ、30年間管理する。	◎
①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: いえるて正会員である第三者機関(プロパティオン等)	◎
①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主ごとの図面、点検結果の登録状況を事務局IDで直接確認	◎
② メンテナンス基準の整備		
②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅に準じた維持管理計画を作成整備し、高度省エネ住宅においても実施する。	◎
②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修の際、それ以外の部分も点検チェックを行う。	◎
②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 家カルテの点検チェックシートの登録状況を年2回確認	◎
③ 住まいの管理		
③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理計画に基づき、当該に係る勉強会をメーカーと共に開催する。	◎
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年6回の構造見学会及び完成見学会、商談会を行う中において、OB施主様の相談窓口を設置する。	◎
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカー主催の勉強会、相談会に会として積極的に参加する。	○
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 家づくり図書館推進委員会を設置した中で、維持管理の検討も実施する。	◎
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの管理手帳を施主に交付する。	○
b ① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 万が一施工業者が倒産した場合や瑕疵が生じた場合、「いえるて」より事務局が情報を受け継ぎ、他の構成員に引き継ぎを斡旋する。	◎
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅保証機構による事故事例講習を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	メンテナンスの一環として家づくり図書館内にOB施主の相談窓口を設置する。	◎

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a ① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催		◎
②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各現場において断熱材の施工方法を確認する。	◎
②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 専任担当者を置くことで、各現場において施工方法の確認、チェックを行う。	◎
③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 断熱等性能等級4をグループで年間14棟(各施工事業者年間1棟)の目標とする。	○
③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2020年省エネ基準義務化に向けて、施工構成員が対応できるよう情報提供する。	○
④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域に健康エコ住宅を広めるために、都度設計事務所、流通業者、工務店メンバー全員に、目的目標を統一する。	◎
b ①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 25 今年度の参加目標人数 1 昨年ほぼ会員メンバーは受講済みです。	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 5 請負業者にも参加を促します。	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局からグループ構成員に省エネ技術講習会の開催日時の情報を提供し、参加を義務付ける。	◎
c ① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 関係団体が主催する省エネ技術に関する講習を受講し、技術力向上に努める。次世代住宅に関連する各種セミナー等を事務局からグループ構成員に積極的に配信し参加を促進していく。	○
② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 当グループでの新技術開発は検討していません。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	断熱等性能等級4に加えて長期優良住宅を半数の工務店に実施してもらい、来年度には全工務店が実施できるレベルを目指す。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 住む人と、自然を大切にする健康エコ住宅	(地域型住宅供給対象地域) 熊本県 大分県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 家づくり図書館 ~家づくりは学ぶことからはじめよう~	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0237-0735	

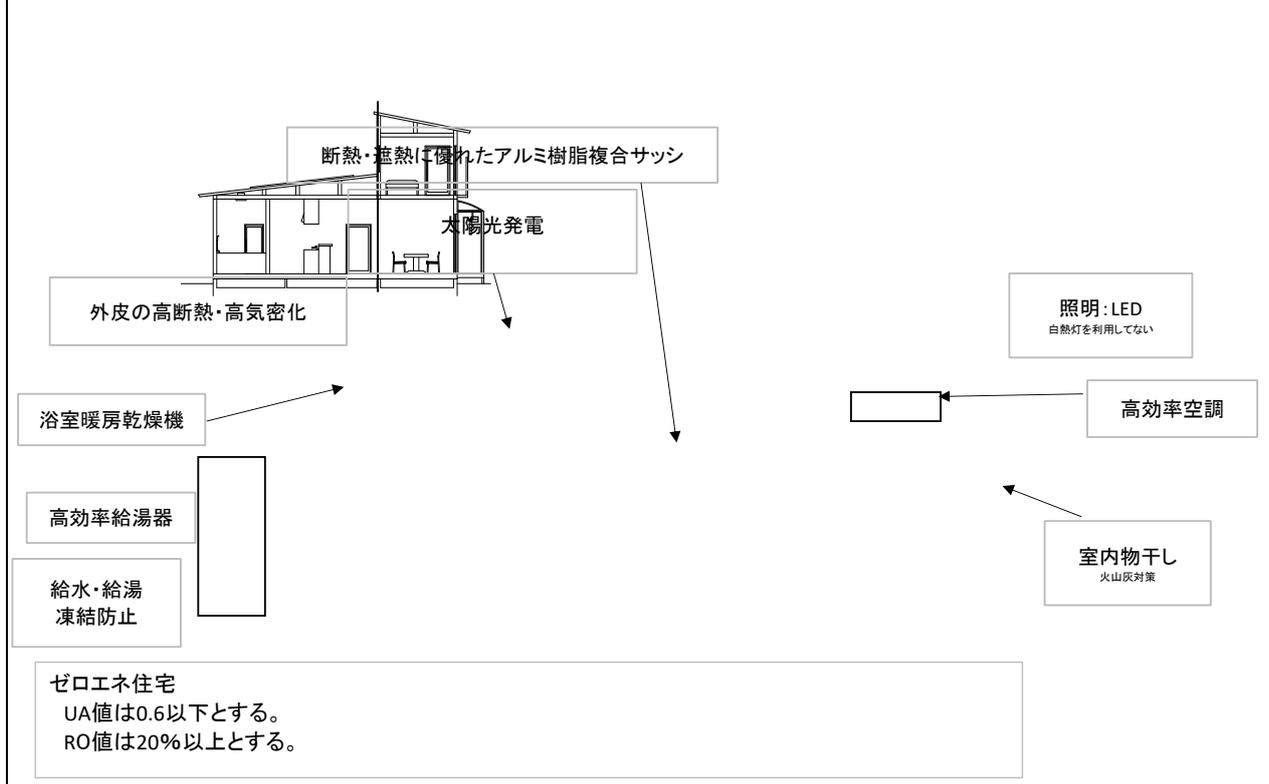
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

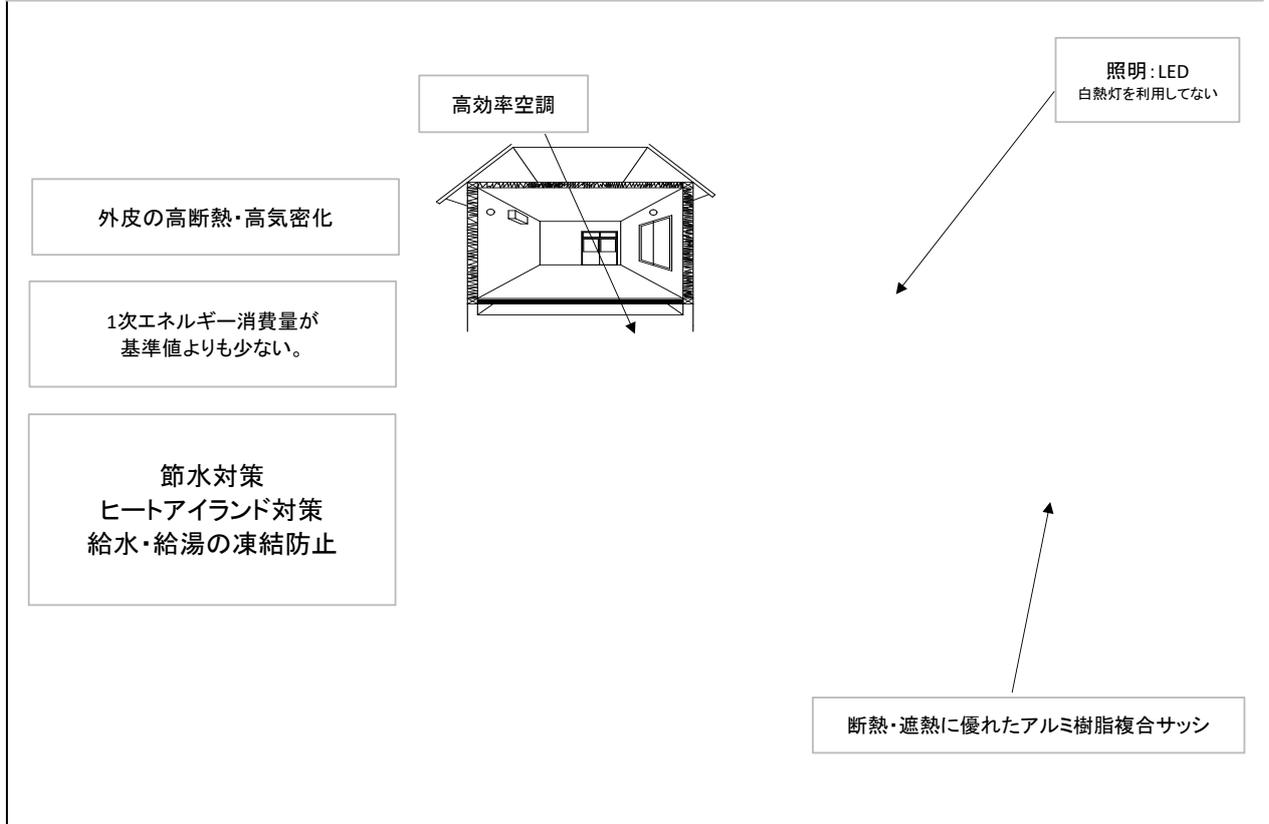
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高度省エネ型



優良建築物型



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。